

文の中心やつながりに注意して書くこと

名前

学番

ポイント

- 文章の、だん落ごとの書き方のくふうを考えましょう。
- つなぎことは、こそあどことばを入れましょう。

きほん問題

◆ 次の文章を読んで、あとの(1)・(2)の問題に答えなさい。

- ① キのう、わたしは、足をけがして入院している弟のおみまいに行きました。
- ② わたしが、弟のクラスの先生からあずかったプリントをわたすと、弟はすぐに※を読みました。
- ③ プリントを読み終えると、弟は、最近の学校の様子をわたしに聞いてきました。
- ④ 弟は、勉強のおくれを気にしているようでした。来月の遠足に行けるのかどうかも心配していました。
- ⑤ わたしは、弟に、勉強はあとで教えてあげるから、けがを治すことに集中するようにと言いました。

(1) ※に入ることはとして最もふさわしいものを、次から選び、記号で答えなさい。

- ア それ
- イ あそこ
- ウ どこ
- エ こんな

(2) 次の文を入れる場所として最もふさわしいのは、どのだん落の直前ですか。①～⑤のだん落の番号で答えなさい。

〈まず知れたがったのが、じゅ業の進み具合でした。〉

文の中心やつながりに注意して書くこと

名前

学番

チャレンジ問題

次の文章を読んで、あとの(1)～(3)の問題に答えなさい。

- ① 十月一日、土曜日に、ぼくたちの学校で運動会がありました。
 ② ぼくは白組でした。白組が勝つようにがんばろうと、とてもはりきっていました。

③ 午前中は、赤組の方が勝っていました。白組も一生けん命でしたが、多くの競ぎで負けてしまいました。

④ ※、午後になって様子が変わりました。なんと、徒競走とリレーで、全学年で白組が勝ったのです。ぼくも徒競走に出場して、一位になることができました。

⑤ 結局、白組が、二十点差で赤組に勝ちました。ぼくは、「やった!」とさけんで、とびあがりました。

(1) ※に入ることはとして最もふさわしいものを、次から選び、記号で答えなさい。

- ア それとも イ たとえば
 ウ ところが エ なぜなら

(2) 次の文は、この文章を書くために作ったメモの一部ですが、どのだん落の内よりについてのものですか。①～⑤のだん落の番号で答えなさい。

〈白組のもうれつな追い上げ〉

(3) 次の文が説明している内よりが書かれているだん落を、①～⑤のだん落の番号で答えなさい。
 〈会話文と動作を書いて、自分の喜びを表している。〉

文の中心やつながりに注意して書くこと

きほん問題

かい答	アドバイス
<p>(2) (1) <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>4 ア</p>	<p>(2) (1) <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>イ・ウは、場所を指ししめすことです。</p> <p>4の「弟は、勉強のおくれを気にしているようでした」という部分に注目します。</p>

文の中心やつながりに注意して書くこと

チャレンジ問題

かい答	アドバイス
<p>(1) </p> <p>ウ <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> (3) (2) (1)</p>	<p>(1) </p> <p>※の前後で、話の内ようがぎやくにな っています。</p>